

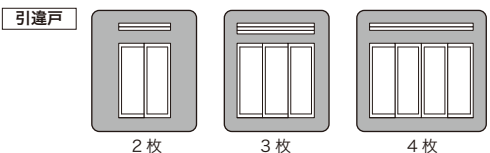
オーダーメイド収納 **オオ** 引違戸

施工説明書

必ずお読みください

対象製品： **引違戸** 2枚/3枚/4枚

注意 本施工説明書は以下の対象製品をひとつにまとめて説明しています。下記の注意事項をよくお読みのうえ、正しく施工を行なってください。



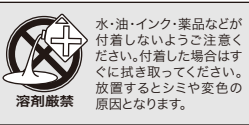
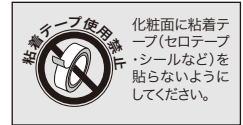
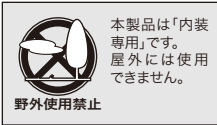
- 本書は引違戸2枚、または3枚・右勝手を例に施工手順を説明しています。それぞれの相違点は扉枚数・レール本数・引込部分の有無で、基本的な施工方法は同じです。
- 左勝手の場合は左右対称の取り付けとなります。

このルールを基本にして、別添の製品詳細図面を参照しながら施工を進めてください。

注意事項

施工をされる方へ

- 施工前に必ず本説明書をよくお読みのうえ、正しく施工を行なってください。
- 特に「警告・注意」は必ずお守り下さい。施工される方や、ご使用になる方、他の人への危害・財産への損害を未然に防止するため、厳守すべき内容を以下に区分表示で説明しています。
- 本書にそわず、間違った施工・取り扱いを行なった場合には、当社での保証はしなますのでご注意ください。



警告表示の種類と内容 人身事故や財産の損害を未然に防止するために、製品の施工・取扱方法について次のような警告表示をしています。内容をご理解のうえ、正しく安全に施工を行なってください。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次レベルで説明しています。	本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。
警告 この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが死亡または重症を負うことが想定される危害の程度を示す。	⊘ 「してはいけない」を示します。
注意 この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが傷害(※1)を負うことが想定されるか、物的損害(※2)の発生が想定される危害・損害の程度を示す。 (※1)傷害とは、治療に入院や長期の通院を要しない、ケガなどをさす。(※2)物的損害とは、家屋・家財に関わる拡大損害をさす。	⚠ 「必ず行なっていただくこと」を示します。

- 警告**
- ⊘ **指定された部品以外**の使用禁止。
強度が保たれず破損・ケガのおそれがあります。
- ⊘ **製品にぶら下らない**。
強度が保たれず破損・ケガのおそれがあります。
- ⚠ **上レールの固定確認**。
3方枠・4方枠、特に上レールは確実に固定できているか必ず確認してください。固定が不十分な場合、部材の落下原因になり危険です。強度が保たれず破損・ケガのおそれがあります。

- 注意**
- ⊘ **スミナーの分解・改造禁止**。
スミナーを扉から外したり、分解や改造、潤滑油を使用したりすると、開閉速度に変化が生じ、非常に危険ですので絶対に行なわないでください。
- ⚠ **下地補強を必ず行なう**。
強度が保たれず破損・ケガのおそれがあります。下地は木下地を使用してください。
- ⚠ **施工・取付作業は必ず2人以上で行なう**。
破損・ケガのおそれがあります。

注意 このマークは本文中で施工方法の注意点やポイントを表示しています。

その他の施工に関する注意事項

- 施工前に下記 **開口部の確認** を参考に、躯体の水平・垂直を確認し、不陸のないように床面を平滑にしてください。
- 本製品はクロス貼り前に施工してください。
- 付属ビスで施工してください。梱包に使用箇所を記し、部材に取付位置を示すシールを貼っています。
- 指定のビス止め箇所は確実に実施してください。施工時は傷がつかないよう注意してください。
- 電動工具でビス頭がぶれないよう、締めすぎにご注意ください。

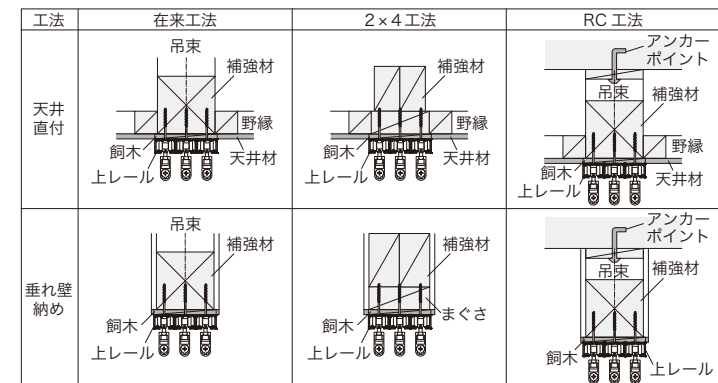
スミナーについて

- スミナーは扉を閉じる際の衝突音や跳ね返りを軽減する部材です。指はさみを防止するためのものではありませんので、施工中・開閉の際にはご注意ください。
- スミナーが作動する際、カシャという音が発生します。
- 扉を開ける際、50mm程度までの間は操作を重く感じる場合があります。

施工前の確認事項

■上レール・天井納まり(参考例)

製品の重量で天井や補強材が垂れ下がらないように確実に補強してください。扉1枚当たり(扉幅900mm×扉高2400mmの場合)、約13kg程度の重量があります。躯体には十分な強度を持たせてください。

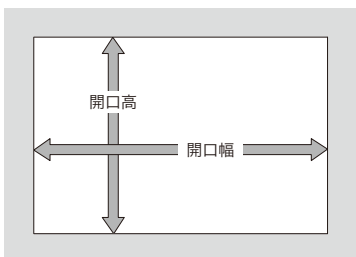


施工時の製品取り扱いに関する注意事項

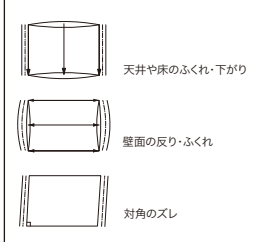
- 上レールや扉本体上部の吊車周辺などに、ホコリなどの異物が付着したまま施工や動作確認を行ないますと、上レールや吊車の摩耗の原因となり、正常に走行しなくなるおそれがあります。こまめに清掃を行なってください。
- 扉の開閉動作はゆっくり行なってください。扉を勢よく閉めると、減速せず枠に当たったり、戸先の跳ね上がりが発生したりするおそれがあります。
- 扉本体が汚れた場合、アルミ部分は布スポンジなど柔らかいものを使い、洗剤は必ず台所用中性洗剤を薄めて使用してください。パネル部分はパネルについているゴミやほこりなどを柔らかいインドモップなどで軽く拭いた後、水で200倍程度に薄めた台所用中性洗剤を浸した柔らかい布を絞り、軽く拭き取ってください。
- 製品の位置・保管は直射日光の当たる場所や湿度の多い場所を避け、壁に立てかけずに保管してください。
- 施工時に製品を床や壁・天井にぶつけないようご注意ください。特に床は養生を行い、製品および床面にキズがつかないようにご注意ください。
- 現場の建築完了まで、本体および3方枠・4方枠、マグネットガイドピンを養生してください。ダンボール等を用いる場合、直接粘着テープを貼らないでください。

■開口部の確認

- 開口部の垂直・水平を下げ振りや水準器で正しくしてください。
- 開口寸法と製品寸法を照合確認してください。

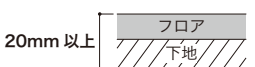


注意 最低3カ所はご確認ください。(採寸箇所:下図矢印部分)



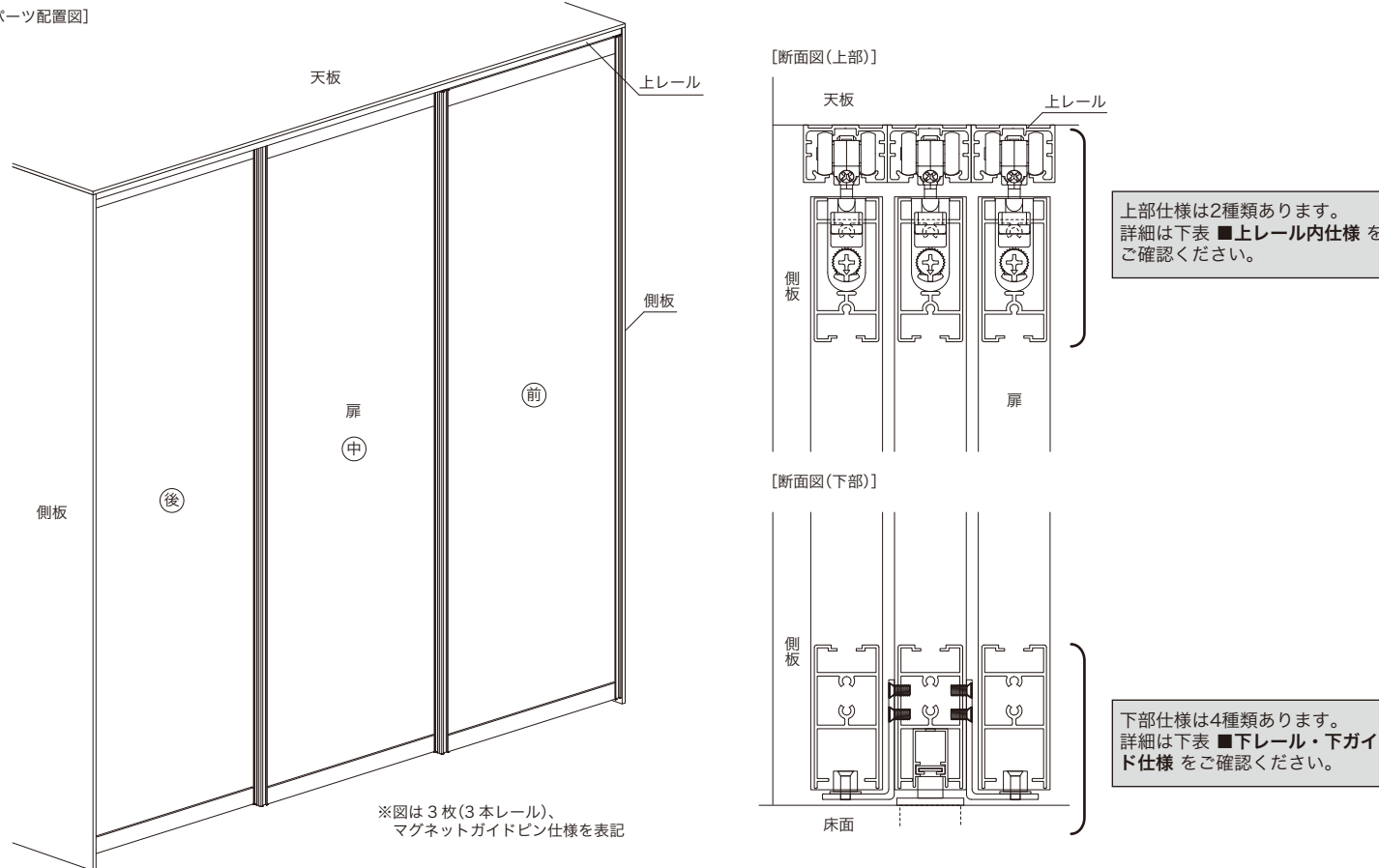
■床面について **マグネットガイドピン仕様**

マグネットガイドピン仕様は捨て貼り専用です。マグネットガイドピンを埋め込んで施工するため、必ず下地があることをご確認ください。

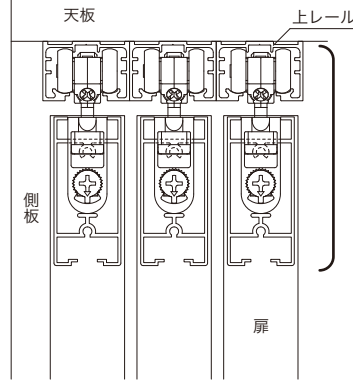


各部説明

[パーツ配置図]

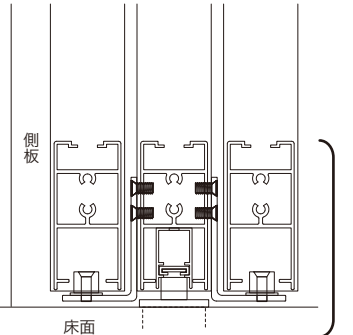


[断面図(上部)]



上部仕様は2種類あります。詳細は下表 **■上レール内仕様** をご確認ください。

[断面図(下部)]



下部仕様は4種類あります。詳細は下表 **■下レール・下ガイド仕様** をご確認ください。

※図は3枚(3本レール)、マグネットガイドピン仕様を表記

■上レール内仕様

	スミナー有り	スミナー無し
2枚(2本レール) 3枚(3本レール) 4枚(2本レール)	<p>スミナー受金具 吊車(スミナー有) バリアブロック</p>	<p>仮固定キャッチ バリアブロック</p>
部品	上レール・サラビスL=25・吊車 上レールにセット ・吊車(スミナー有) 上レールにセット ・スミナー受金具セット(サラビスL=16 同梱)・バリアブロック※・ナベビスL=16※	上レール・サラビスL=25・吊車 上レールにセット ・仮固定キャッチ・バリアブロック※・ナベビスL=16※

※プランにより必要となります。

■下レール・下ガイド仕様

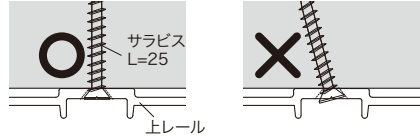
	固定ピン仕様	下ガイド仕様	浮付仕様	下レール仕様
2枚(2本レール) 4枚(2本レール)	<p>固定ピン</p>	<p>マグネットガイドピン</p>	<p>浮付用下ガイド</p>	<p>ガイドピボット</p>
3枚(3本レール)		<p>マグネットガイドピン</p>	<p>浮付用下ガイド</p>	<p>ガイドピボット</p>
部品	固定ピンセット(サラビスL=20 同梱)	マグネットガイドピン・連動ガイド・サラネジL=10 扉にセット	浮付用下ガイド・サラビスL=25・連動ガイド・サラネジL=10 扉にセット	ガイドピボット 扉にセット ・下レール・サラビスL=16

注意 ●部材や部品に不足がないか、ご確認ください。
●表中、**上レールにセット**・**扉にセット**は、それぞれ上レール・扉にパーツがセットされた状態で納入されます。上図を参考にして正しい位置・向きにパーツがセットされているかご確認ください。

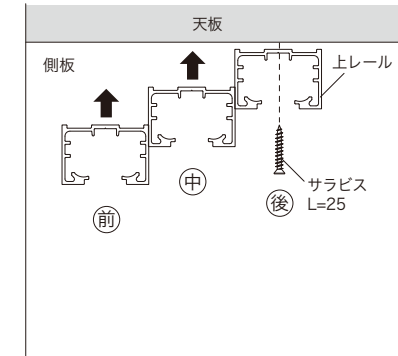
1 上レールの取り付け

②(後)レールから順に約450mmピッチであいている下穴にそって、サラビスL=25で天板に固定してください。上レールの取り付け後は両端部につめているエアキャップを取り外してください。

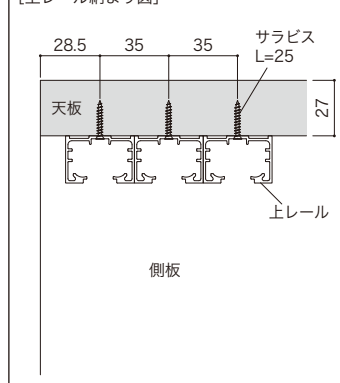
- 注意**
- 上レールは現場でカットしないでください。
 - 上レール位置が開口部に対してずれていると、開閉時動作が悪くなるので正しく取り付けてください。
 - 上レールには吊車、吊車(スムーザー有)が挿入された状態で梱包されています。※吊車(スムーザー有)は上部仕様、**スムーザー有**のみに挿入されています。
 - 上レール内に、木くずやゴミが入らないようご注意ください。ゴミ等の異物が入っていると、レールや吊車の摩耗の原因となり、正常に走行しなくなるおそれがあります。
 - 吊車、吊車(スムーザー有)は納まりごとに向きが異なります。下記「上レール取り付け向き参考図」を参照し、上レールを正しい向きに取り付けてください。
 - 上レールの凹部にビス頭が出ないよう、天板に対して直角にビス打ちしてください。ビス頭が出ていると、吊車(スムーザー有)と干渉するおそれがあります。



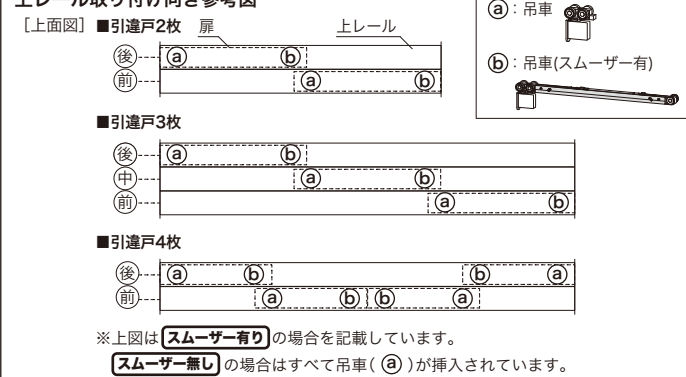
【断面図】



【上レール納まり図】



上レール取り付け向き参考図



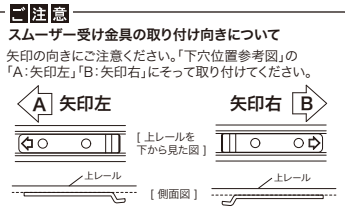
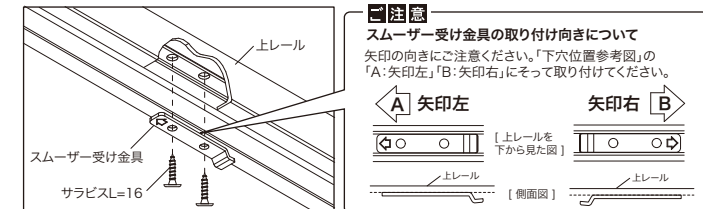
2 上レール内、部品の取り付け (スムーザー有リ スムーザー無し)

上レール内の仕様により部品の種類、取り付け位置が異なります。

スムーザー有リ

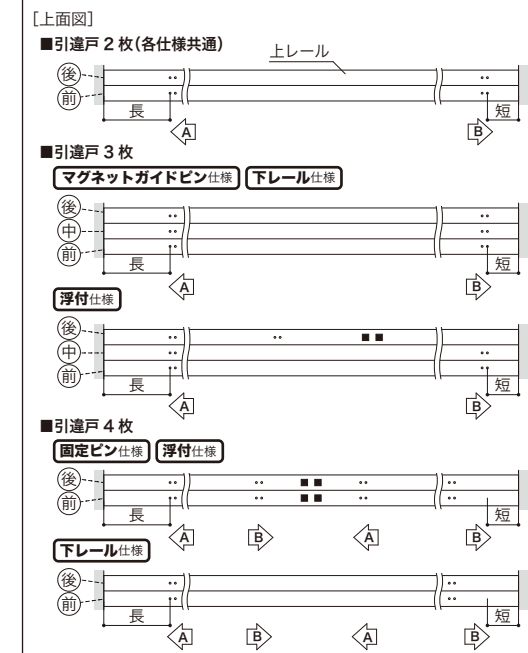
上レールにあいているそれぞれの下穴にスムーザー受け金具、バリアブロックを取り付けます。

スムーザー受け金具の取り付け

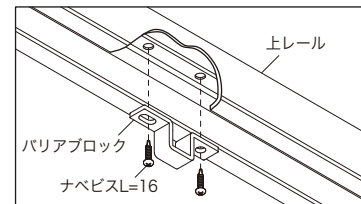


下穴位置参考図 (詳細は別添の製品詳細図を参照してください。)

スムーザー受け金具下穴位置：● バリアブロック下穴位置：■



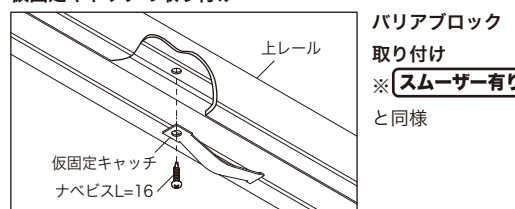
バリアブロックの取り付け



スムーザー無し

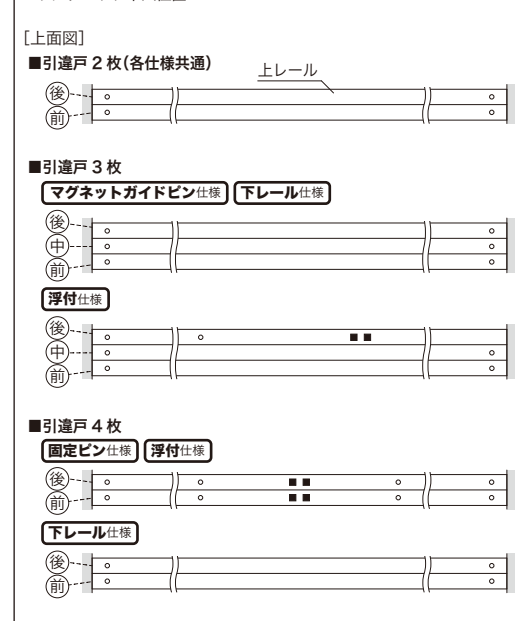
上レールにあいているそれぞれの下穴に仮固定キャッチ、バリアブロックを取り付けます。

仮固定キャッチの取り付け



下穴位置参考図 (詳細は別添の製品詳細図を参照してください。)

仮固定キャッチ下穴位置：○ ※両側からの穴位置までの距離は左右同じです。バリアブロック下穴位置：■



3 下部、部品の取り付け (固定ピン仕様 マグネットガイドピン仕様 浮付仕様 下レール仕様)

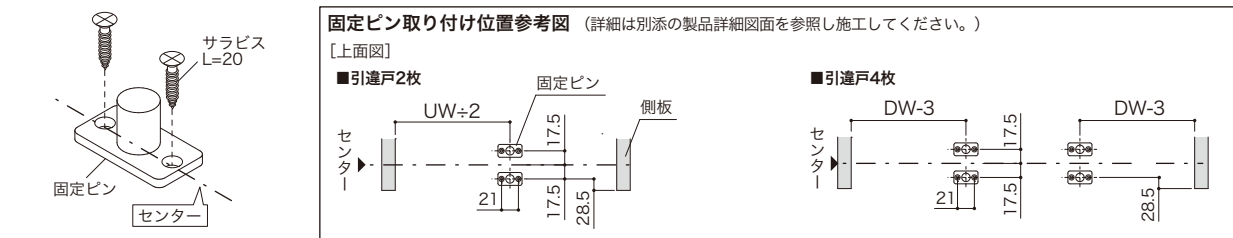
※UWは枠外幅、DWは扉幅を表しています。

下部の仕様により部品の種類、取り付け方法が異なります。

固定ピン仕様

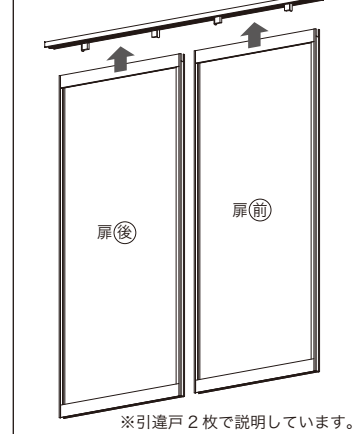
1.固定ピンの取り付け

下図を参照し、取り付け位置を墨出した後、固定ピンを同梱のサラビス L=20 で固定してください。



2.扉の吊り込み

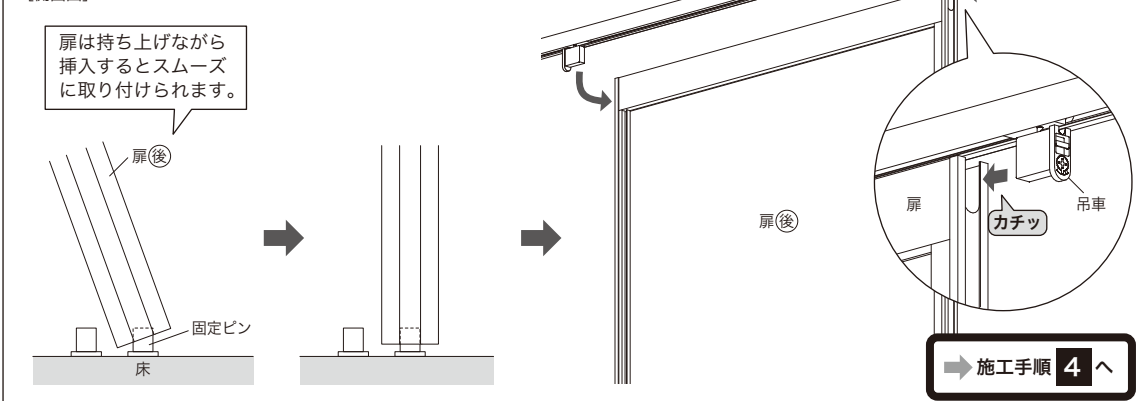
扉は②(後)から順に取り付けてください。1枚目の扉を吊り込み後、次の扉の取り付け作業を行なってください。作業はこの繰り返しとなります。



固定ピンにゆっくりと扉②(後)の溝をはめ込んだ後、吊車を扉②(後)に差し込み、吊り込んでください。

注意 扉にはシールで「表」の指示をしています。取り付けの際に、裏裏があっているかどうか再確認してください。

【側面図】



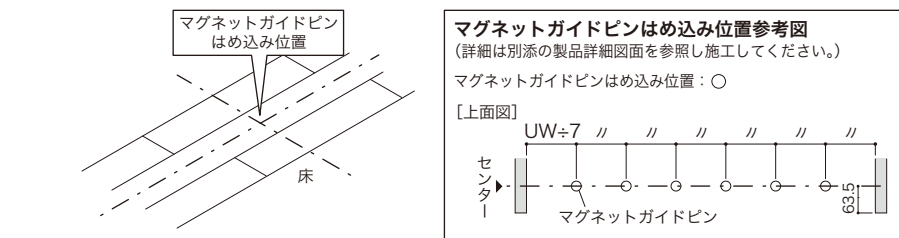
→ 施工手順 4 へ

マグネットガイドピン仕様

1.マグネットガイドピンの取り付け

①はめ込み位置を墨出し

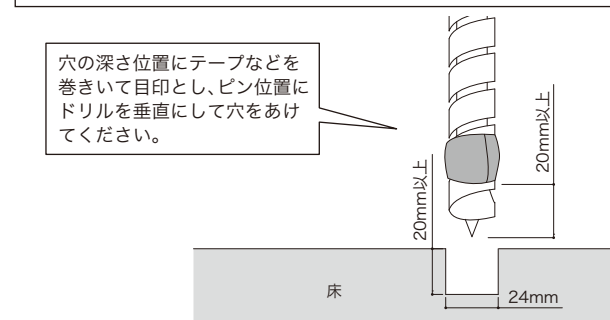
右図を参照してマグネットガイドピンのはめ込み位置を墨出ししてください。



②はめ込み位置に穴をあける

①で墨出した位置にドリルでφ24mm・深さ 20mm 以上の穴をあけてください。

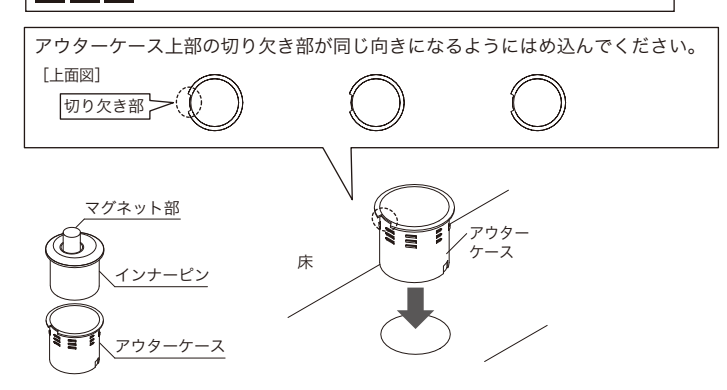
注意 ●下記の寸法を守り、垂直になるように穴をあけてください。●穴をあけた後、穴の部分のゴミを除去してください。



③アウターケースをはめ込む

②であけた穴にアウターケースをはめ込んでください。

注意 アウターケースをはめ込む際は、必ず当て木を使用してください。

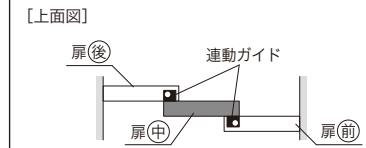


2. 連動ガイドの取り付け

① 取り付け位置の確認

連動ガイドは扉(中)に取り付けます。下図を参照して連動ガイドの取り付け位置をご確認ください。

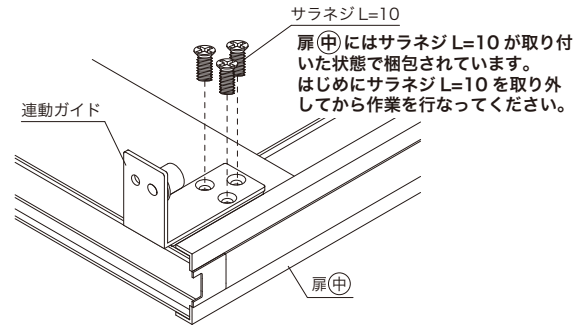
連動ガイド取り付け位置参考図
(詳細は別添の製品詳細図面を参照し施工してください。)



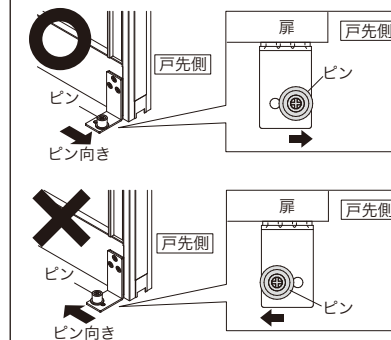
※連動ガイドは扉(連動タイプ)に取り付けます。

② 連動ガイドの取り付け

扉(中)にあり下穴にあわせて連動ガイドを取り付けてください。

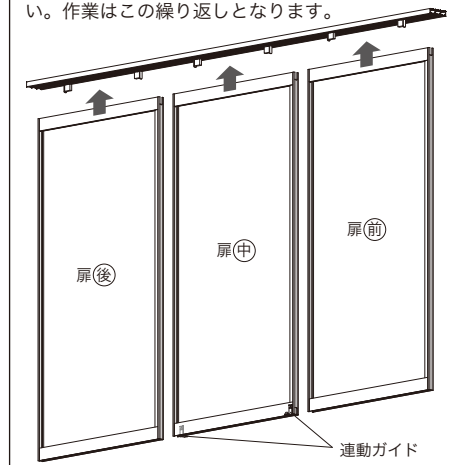


注意 連動ガイドはピンが戸先側に向くように取り付けてください。



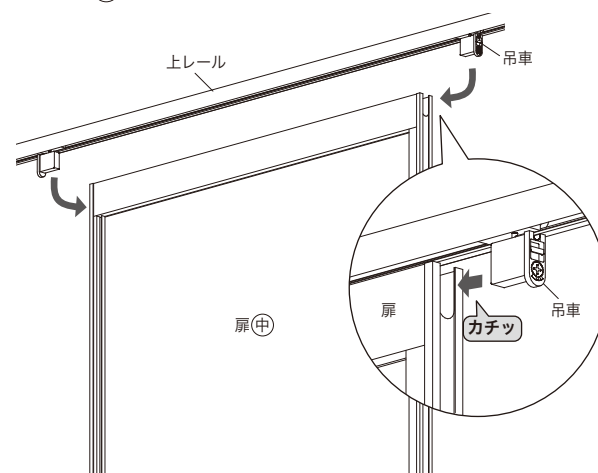
3. 扉の吊り込み

扉(中)から順に取り付けてください。1枚目の扉を吊り込み後、次の扉の取り付け作業を行ってください。作業はこの繰り返しとなります。

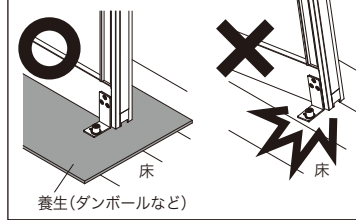


① 扉(中)の吊り込み

吊車を扉(中)に差し込み、吊り込んでください。

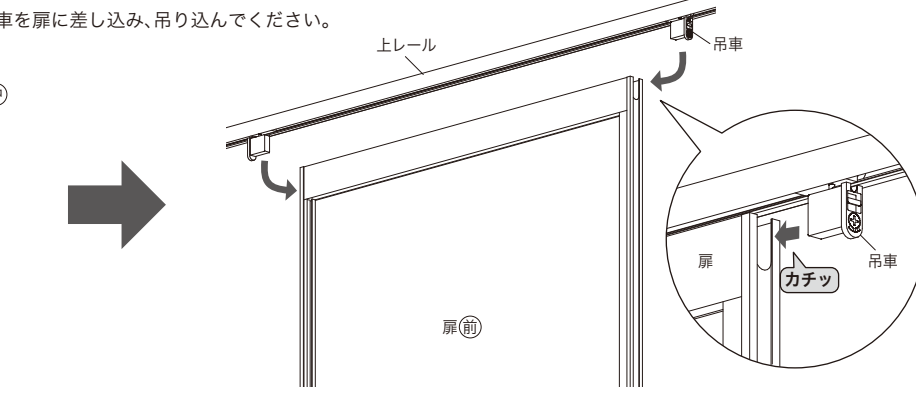
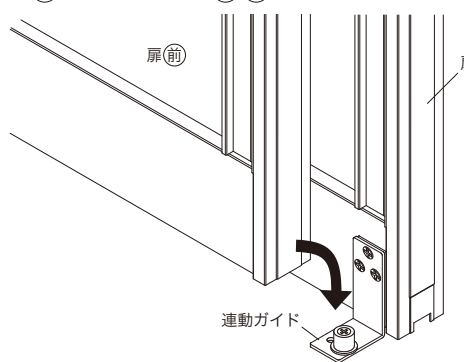


注意
●扉にはシールで「表」の指示をしています。取り付けの際に、表裏がまっているかどうか再確認してください。
●扉(中)を吊り込む際、連動ガイドが床を傷つけないように養生(ダンボールなど)してください。



② 扉(前)後の吊り込み

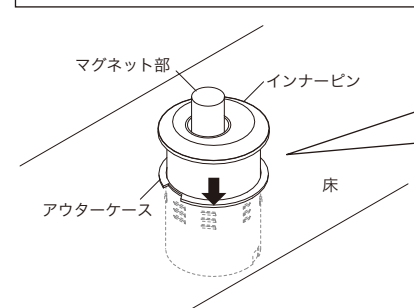
扉(中)の連動ガイドに扉(前)後の下部をはめ込んだ後、吊車を扉に差し込み、吊り込んでください。



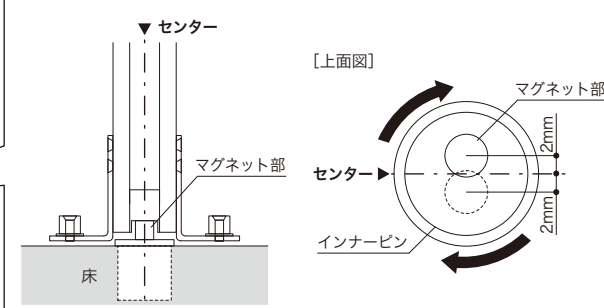
③ マグネットガイドピンの調整

1ではめ込んだアウターケースヘインナーピンをはめ込んでください。

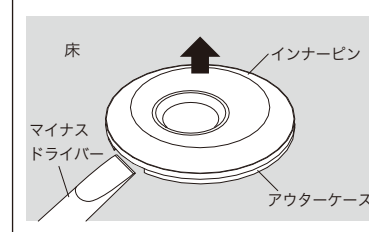
注意 マグネットガイドピンのゴミを取り除き、施工後は養生してください。



マグネット部が扉(中)のセンターにくるように、インナーピンを回転させて向きを調整してください。(インナーピンの回転でマグネット部の位置を±2mm移動できます。)



インナーピンの外し方
アウターケースの切り欠き部にマイナスドライバーをはめ込み、外してください。

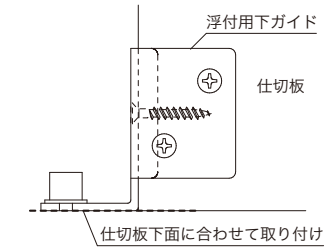
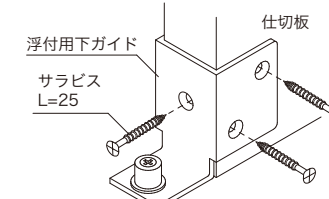


注意 取り外しの際は、床を傷つけないようご注意ください。

浮付仕様

1. 浮付用ガイドの取り付け

浮付用下ガイドを仕切板にサラビス L=25で取り付けてください。



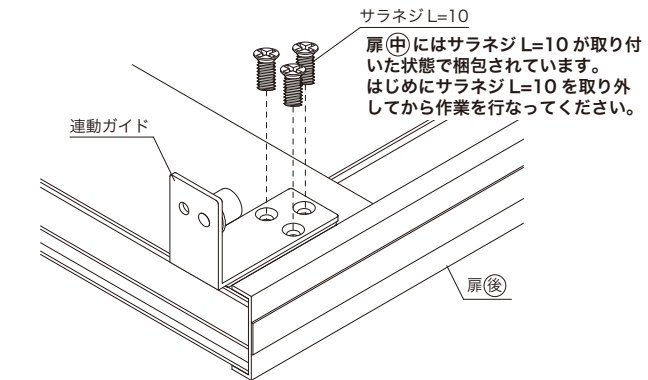
2. 連動ガイドの取り付け

① 取り付け位置の確認

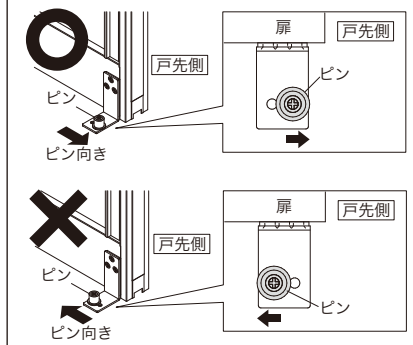
連動ガイドを扉(後)に取り付けます。別添の製品詳細図にて連動ガイドの取り付け位置をご確認ください。

② 連動ガイドの取り付け

扉(後)にあり下穴にあわせて連動ガイドを取り付けてください。※引違戸3枚の場合は扉(中)にも同様に連動ガイドを取り付けてください。

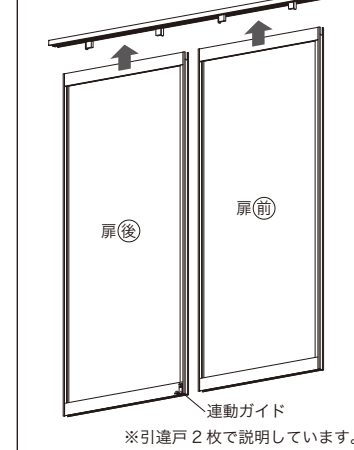


注意 連動ガイドはピンが戸先側に向くように取り付けてください。



3. 扉の吊り込み

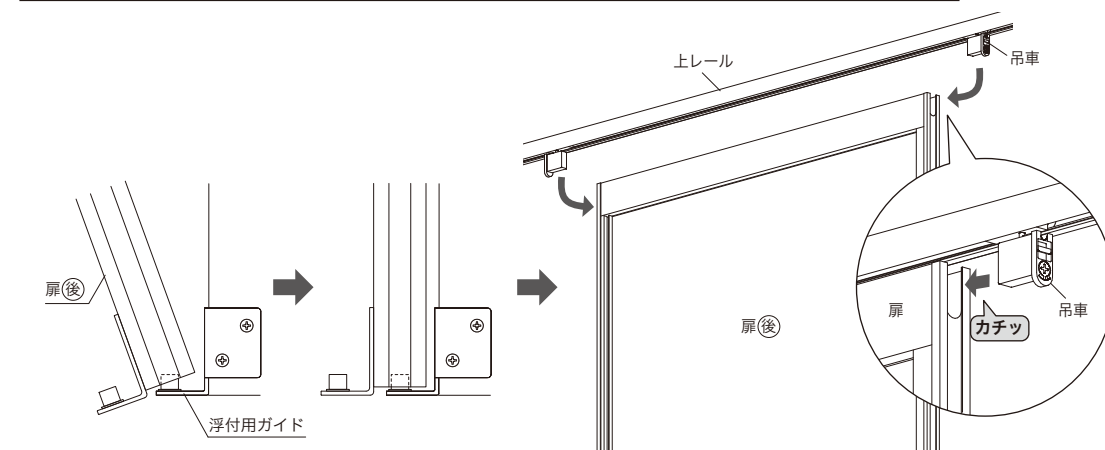
扉(後)から順に取り付けてください。1枚目の扉を吊り込み後、次の扉の取り付け作業を行ってください。作業はこの繰り返しとなります。



① 扉(後)の吊り込み

浮付用ガイドにゆっくりと扉(後)の溝をはめ込んだ後、吊車を扉(後)に差し込み、吊り込んでください。

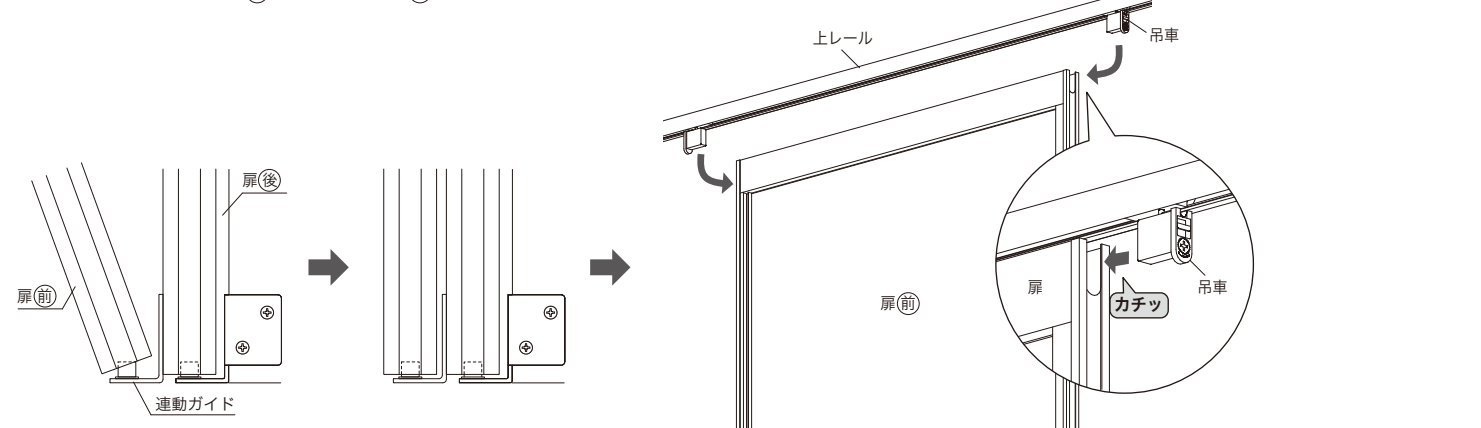
注意 扉にはシールで「表」の指示をしています。取り付けの際に、表裏がまっているかどうか再確認してください。



② 扉(前)の吊り込み

扉(後)の連動ガイドに扉(前)の下部をはめ込んだ後、①と同様に吊車を扉に差し込み、吊り込んでください。

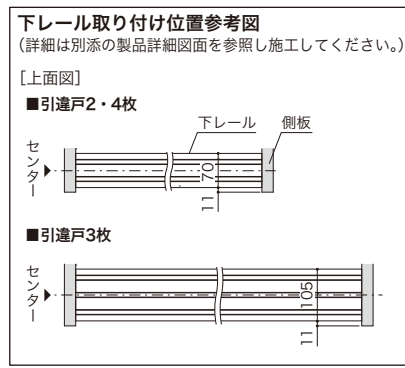
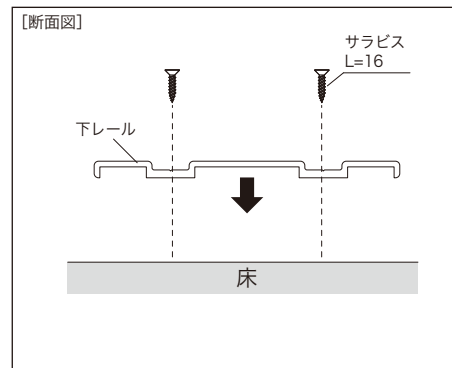
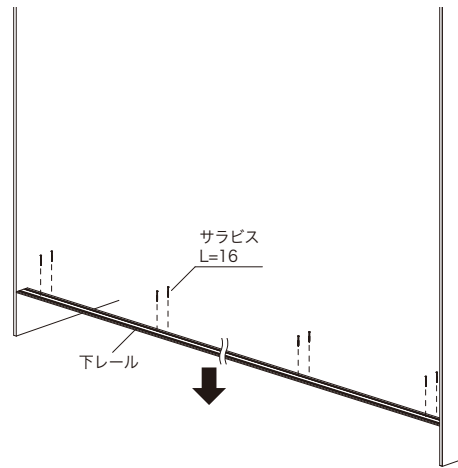
※引違戸3枚の場合は同様に扉(中)を吊り込んだ後、扉(前)を吊り込んでください。



下レール仕様

1. 下レールの取り付け

下レールを下穴にそってサラビスL=16で床に固定してください。



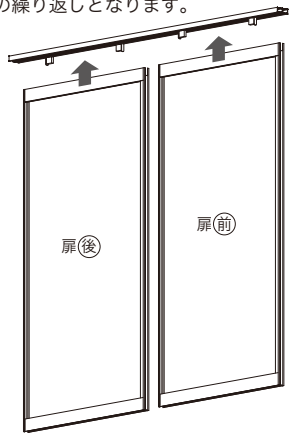
注意

下レールの凹部にビス頭が出ないよう、床に対して直角にビス打ちしてください。ビス頭が凹部に出ていると、ガイドピボットと干渉するおそれがあります。



2. 扉の吊り込み

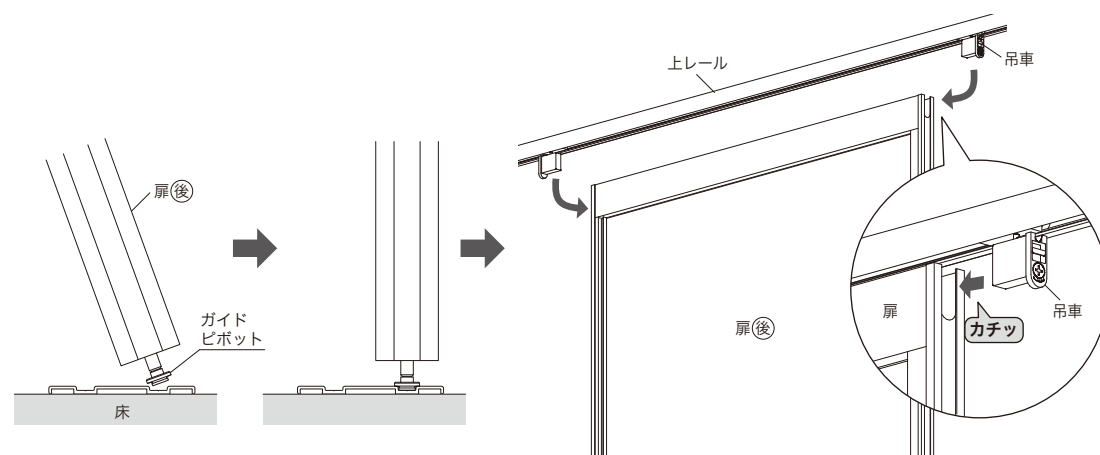
扉は(後)から順に取り付けてください。1枚目の扉を吊り込み後、次の扉の取り付け作業を行なってください。作業はこの繰り返しとなります。



※引違戸 2枚で説明しています。

扉(後)のガイドピボットを下レールの後側に挿入した後、吊車を扉(後)に差し込み、吊り込んでください。

注意 扉にはシールで「表」の指示をしています。取り付けの際に、表裏があるかどうか再確認してください。



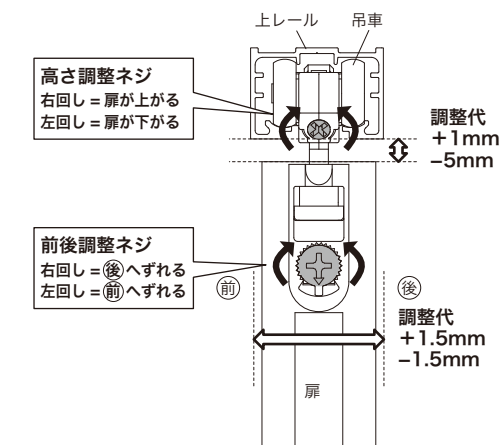
→ 施工手順 4 へ

4 扉の調整

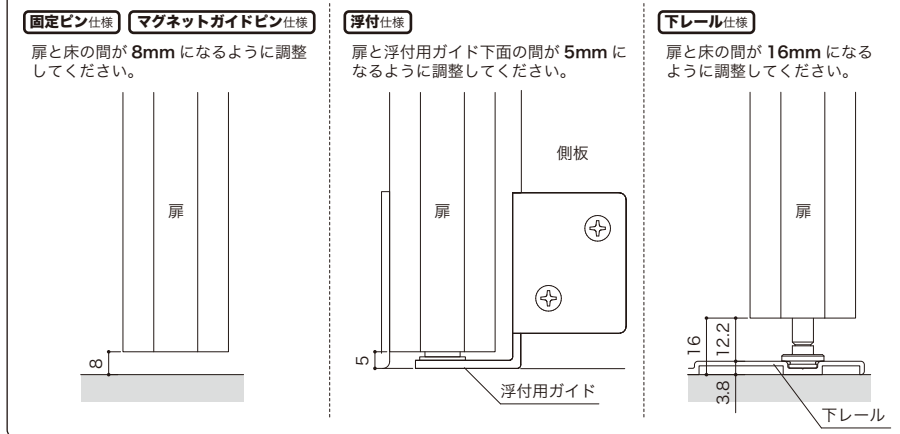
吊車の調整ネジにて扉の調整を行なってください。

注意 調整代以上の調整を行なった場合、他の部品または床面との干渉が生じ、異音の発生や開閉動作に支障をきたしますのでご注意ください。

上部【側面図】

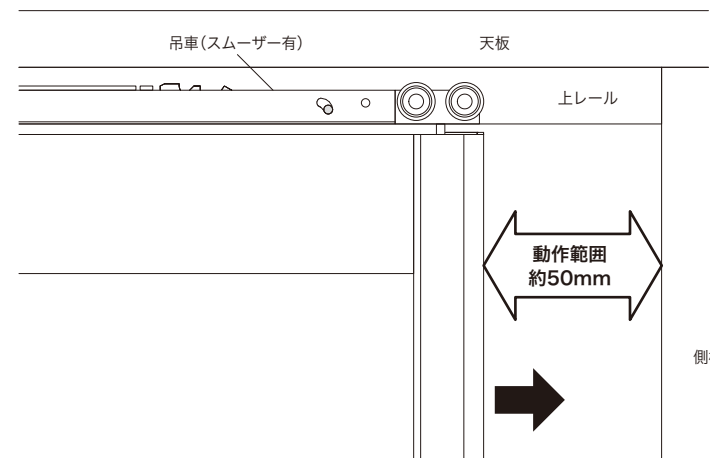


下部【側面図】



5 スムーザーの動作確認 (スムーザー有り)

扉をスライドさせてスムーザーが正しく動作しているか確認してください。



スムーザーが正常に機能していない場合は、下記に記載しているスムーザーの自動復帰を行なってください。

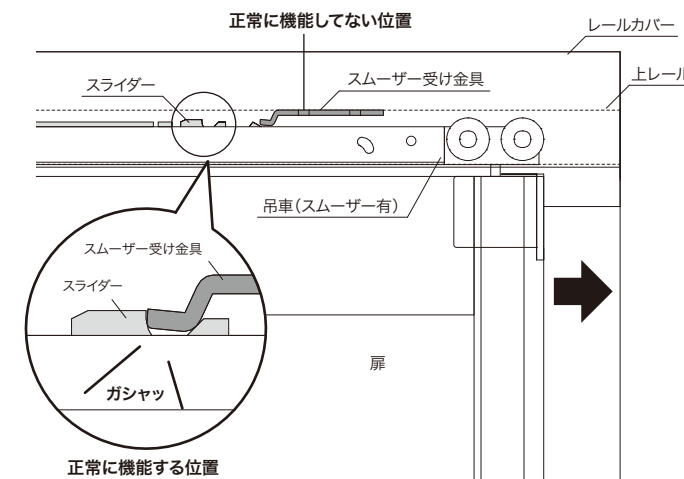
スムーザーの自動復帰 (スムーザー有り)

5 でスムーザーが正常に動作しない場合、以下の手順で自動復帰を行なってください。

1. 扉を全閉

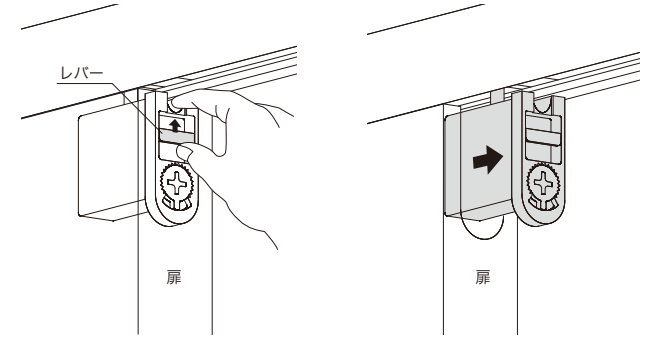
扉を戸先側にゆっくりと動かし、全閉してください。左右どちらかが10mm程手前で一度扉が止まりますので、最後まで閉め切ってください。スライダがスムーザー受け金具を乗り越えるとガシャツと音がします。

注意 必ずたて枠に当たるまで全閉してください。



扉の取り外し方

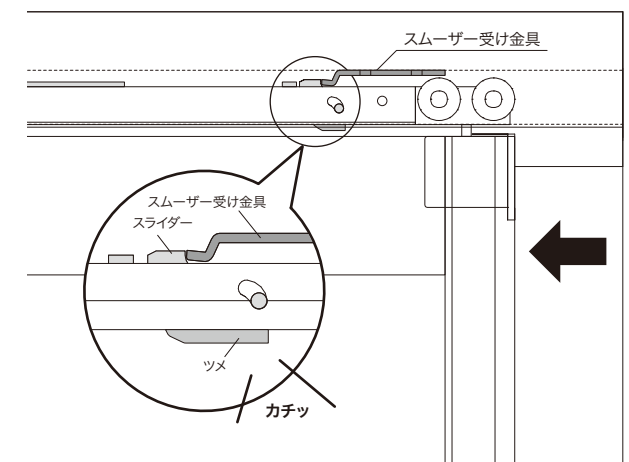
吊車(扉両側)のレバーを押し上げ、扉から吊車を抜いてください。抜けにくい場合は、マイナスドライバーを使って吊車を抜いてください。



2. 扉を開く

スムーザー受け金具が見えるまで扉を開いてください。正常に自動復帰するとカチツと音がし、吊車(スムーザー有)下側にツメが出てきます。

注意 開閉はゆっくりと行ない、スムーザー自動復帰後は無理に押し込んだり、引っ張ったりしないでください。動作不良の原因となります。



3. スムーザー自動復帰の確認

扉をスライドさせてスムーザーが正しく動作しているか確認してください。(5 参照) スムーザーが正常に動作するまで、上記 1・2 を繰り返してください。